

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	クラス制導入11年目 (A・B・C・分室1・分室2の5クラス)	令和7年度は、本館A・B・C組、分室1・2組の5クラス編成となり、帰宅コースをベースに子どもを振り分けた。クラス毎に出席簿を作成し、出席確認を行った。また、日常生活や各種取組、毎月の避難訓練等、集団で行動する時は、子どもたちに指示が入りやすいようにクラス単位で誘導した。
		出欠確認 (健康観察・精神面・行動の把握)	毎日、出席児童の出欠確認を行うとともに子どもの健康・精神状態の把握に気を付けた。保護者から欠席連絡を受けた際、理由や状況を確認する等して児童の健康状態や状況把握に努めた。無断欠席児童の保護者には連絡をし、子どもの所在確認を徹底した。「小学校での居残り」、または「学童クラブの無断欠席」の判断に困り、小学校へ問合せが必要となり、出欠確認が遅くなることがあった。欠席連絡や帰宅方法の変更等は、育成室や分室のボード等に記載し、職員間で共通認識をしている。保護者からの出欠等の連絡は、基本、うえぶさくらのメッセージ機能で受付けている。
		あいさつの励行 手洗い、手指の消毒の励行	場面に応じた基本的なあいさつをするよう、職員自ら模範となつてあいさつをした。登館時、おやつ前(土曜日及び長期休暇時は食事前)、外遊びからの入室時には、手洗い・手指の消毒の声掛けを行い、子どもたちも習慣づいてきている。ハンカチを持参するように声掛けを行った。
		小学校運動場の遊具の使い方及び指導	総合遊具をはじめ、小学校の遊具の使い方について、基本的に小学校のルールに準じた上で、学童クラブ独自のルールを設け、常時安全に配慮した。怪我等をした場合、当該児童や関係者に事実確認を行い、経緯を保護者へ報告した。児童の怪我の増加や、気になる事案がある場合は、お帰りの会で全体に向けて子どもたちとルールの確認している。
		玩具の安全な遊び方及び後片付けの指導	児童館の玩具の使い方や片付け方等について、随時指導した。敷やスペースに限りがあるので、譲り合ったり、順番を決めて使うように声掛けをしている。粗雑な扱いが目立つ場合、都度、個別指導した。全体には、お帰りの会で考えさせる機会をつくり話し合いをした。今後も徹底した声掛けが必要。
	健康の管理・情緒の安定	気になる言葉使いへの指導	相手に対し、言葉使いが気になる時は、言葉の使い方について、個別指導した。時には、全体で考えさせる機会を作り、言葉づかいについて児童と職員で確認するようにした。
		おやつ提供	カロリーや単価、子どもたちのアレルギーなどに注意しながら、概ね15分以内に食べられるメニューでおやつを提供した。アレルギーについては日誌に記入し、職員打合せで除去等配慮の必要な子どもについては周知をしている。誤食をしないように、個別に袋に入れて準備をしている。
		当番活動(おやつ・お帰りの会) ※ タテの帰宅コース班の子どもで実施	『おやつ』(準備や食前後の挨拶等)・『お帰りの会』(司会進行)の進行を子どもたちに運営させることにより、自主性や責任感を養った。生活班は作らず、日ごとに当番を募って行った。本館では当番希望者を募り、おやつのアナウンスや外遊びのお知らせを館内放送で行っている。子どもたちが前に立ったり、放送をすることで、全体の動きが見え始め組織的な行動ができるようになってきた。また、役割を与えることによって、生き生きと活動し、みんなの前で進行することが、各々の自信と成長につながった。
	基本的生活習慣の確立	当番活動(カブトムシのお世話係)	ご近所からいただいたカブトムシの幼虫のお世話を曜日ごとに当番を決め行った。
		登館時及び下館時の安全指導	特に1年生の多い帰宅コースの集団に職員が付き添い「送り」を行った。安全に帰宅できるよう随時指導をし、安全な集団下館の維持に努めた。子どもたちの下館の様子や各々の自宅付近の様子などを把握することができた。送り期間終了後も、何かトラブルが発生すればすぐに駆けつける等して子どもたちや保護者から聞き取りをし、対応した。集団帰りについて課題がある場合は、安全に帰宅できるように、お帰りグループごとに話し合いをしたり、お帰りの会で周知をした。
	社会生活技術の獲得	冬季早帰りの実施(10月27日～1月31日)	日が短くなる10月27日～1月31日の期間、集団下館の時刻を15分早めて16時45分頃に児童館を出発し、明るい内に帰宅できるよう、冬季早帰りを実施した。
		避難訓練(児童館事業として毎月実施) ※ クラス毎に集合・確認を行った	毎月実施することにより、避難する時間が早くなった。回数を重ねると慣れも出てきてふざける子もいた。その都度、個別に注意をし、指導にあたった。全体としては、概ね、真剣に取り組んでいる。また、出火場所や避難経路について様々な想定で実施することができた。
		「静かな時間」の実施 (土曜日・小学校休業日)	土曜日や小学校休業日は、昼食の後の休憩時間として「静かな時間」を設定した。休憩を取ることで、子どもの体調維持ができた。
		安全衛生点検日(毎月15日)	各自のロッカーの使い方や荷物の入れ方などを指導し、個人の物の管理を徹底させた。また、職員は施設内の安全衛生点検を実施した。

子ども育成機能	生活体験の拡大	班編成(※ 帰宅コース) 各種あそび (オセロ、マンカラ、こま、将棋、リズムゴムとび、ソリティア) 各種検定 (けん玉、リズムゴムとび、ソリティア)	帰宅コースをベースにグループ分けをしている。 各種あそびについて、それぞれ取組期間を一定期間設定しあそびの普及に務めた。あそびの技や技能を向上させることで、自分に自信を持ち、チャレンジ意欲を高めることができた。上級生が下級生に教え合う姿も見られた。けん玉は、夏休み期間の午前中、取組を実施。子どもたちは意欲的に取り組んでいた。下級生にとって、高学年が色々なことを上手に出来る憧れの存在となっている。また、仲間同士、切磋琢磨し、個々の上達に繋がった。こま遊びは、取組期間は設けず、日常の遊びとして実施している。
	社会性の養成	『わくわくランド』の事前準備及び当日の運営 ※ 2年生以上の希望者	令和7年度は、子どもたちがスタッフとして参加し、あそびのコーナー看板作成、当日のコーナー運営に向け、予め役割分担等、事前準備を行った。
	自立の促進と自主性の尊重	『わくわくランド』のあそびコーナーのスタッフ ※ 2年生以上の希望者 『わくわくランド』のステージ発表 ※ 希望者 おやつのおみせ(準備・運営) ※ 3～6年生	令和7年度は、当日のコーナースタッフとしての参加、遊びコーナーの案内係・運営の補助を担ってもらった。また、子どもステージでは、ほっとクラブの子どもたちが司会を務めた。 ステージ出演(発表)の子どもを募り、けん玉のパフォーマンスを披露した。ステージ前には観覧・応援する子どもや保護者で賑わい、大盛況だった。 令和7年度は、「おやつのおみせ」のお当番として、学童クラブの3～6年生が看板を書き、お店の手伝いをした。おやつの種類がわかりやすいように、ポスターの作製などを子どもたちで行った。
子育て支援機能	子育てに必要な情報提供と情報交換	学童クラブだより (月1回発行・・・さくらデイズ資料室に掲載)	各月の活動予定や持ち物についてお知らせした。
		学童クラブ通信 (月1回発行・・・さくらデイズ資料室に掲載)	日常の出来事や行事などについて掲載し、活動の狙いや子どもたちの生活の様子を写真とともに伝えた。
		一斉メール配信の実施(随時) さくらデイズアプリ使用	緊急時等の一斉メール配信を実施。提出物のお知らせや、学童クラブ事業について等の重要なお知らせを、確実に伝えることができるようになった。児童数が多いため、提出物の締切前に配信して提出を促したり、未提出の場合に活用している。
		保護者懇談会(年1回)	夏休みの過ごし方を中心に説明した。
	子育ての仲間づくり	個人懇談会 ※ 新入会児童の希望する保護者	6月末～7月初めに新入会生の保護者を対象(希望者)に実施。日程調整の上、児童館で個人懇談を行った。児童館での様子、家庭での様子を伝えあい、情報交換をした。情報交換により、各家庭の考えや家庭環境について知ることが出来た。
		登録説明会 62名参加 入会説明会 72名参加	次年度の学童クラブ新入会希望者を対象に、児童館や学童クラブの事業概要や学童クラブ申請書類の書き方を説明した。
		◇保護者会連携行事 わくわくランド【児童館主催行事】	学童クラブに初めて入会する家庭を対象に、学童クラブ事業の詳細(運営方針や生活、約束事、費用など)の説明をした。最後に、集団帰りの帰宅コースごとに集まり顔合わせをし、帰宅ルート・危険な場所等を共有した。 保護者会会長より、保護者会活動について説明してもらった。 わくわくランドについて、保護者会との協議を実施。保護者役員と児童館職員で打ち合わせ会議を1回行い、わくわくランドに向けての事前準備や当日のお手伝いをお願いしている。
		保護者会との連携(随時)	令和7年度の役員選出と5月に実施の保護者会総会はWebアンケート及び書面議決で行われた。保護者会総会の資料の内容や総会の開催方法等について、保護者会役員と児童館職員で相談をし、準備を進めてもらった。 ウェブさくらのメッセージ機能やアンケート機能を利用し、総会についてのお知らせや総会の委任状の回答と書面評決の回答ができるよう協力をした。
	子育てを支えるネットワーク形成	保護者会活動(館内行事等のお手伝い)	年度により、館内行事(主に大会)のお手伝いを依頼することもある。
		小学校との連携(随時)	学童クラブ児童に関する情報交換や、分室や運動場の使い方について調整を図り、密に連絡を取りあった。小学校のおたよりと学童クラブだよりは、通い封筒を作り、児童を通じて交換をしている。見守りの必要な家庭について、校長先生や当該児童の担任の先生と情報共有した。 新1年生の入会にあたり、校長先生や子どもたちの情報を共有した。
ケース検討会の実施 ※巡回のみでケース検討会は無し		児童館学童連盟の岡崎達也氏に巡回相談を依頼し、気になる子どもの様子を見てもらった。子どもの特性、支援方法のアドバイスをもらい、後日、職員の打合せの日に共有した。	
	保育園との連携 (新1年生を受け入れるにあたり)	新1年生の入会にあたり、保育園の先生と子どもたちの様子等を可能な範囲で共有した。	

令和7(2025)年度 学童クラブ事業年間活動報告書

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生	大人				
(1)生活援助機能																
班編成(帰宅コース)	1															帰宅方面により集団下館の班を振り分けた。児童には、安全に自宅まで帰れるよう話をし、並び方にも配慮をした。班活動は行っていない。
登下館時の安全指導	随時															安全に登館・下館ができるように、お帰り班で安全に帰れているかを聞き取り、問題があれば話をし、安全意識を向上させる機会を持った。
あいさつの励行	随時															場面に応じた基本的なあいさつができるよう、常時指導した。
登館時のルーティン	随時															登館時、手洗い後、QRコードの打刻、クラス・名前を職員に伝え、ロッカーへ荷物を片づける流れを習慣化した。
片付け・整理整頓指導	随時															使った遊具や本等は元の場所に返却後、次の行動に移るよう声かけをした。自分の持ち物やロッカーについても、整理整頓するように声掛けをした。
宿題・自主学習声かけ	随時															学童クラブでの宿題については、各家庭で相談して決めていただくよう伝えている。宿題の声掛けは全体にしている。
(2)子ども育成機能																
安全衛生点検日	12	600	496	443	241	70	41	1							1892	毎月15日に、子どもたちは自分のロッカーの整理をした。また、ロッカーの使い方や荷物の入れ方などを指導し、個人の物の管理の徹底を図った。
1年生机出し説明会	1	62													62	1年生が、2人で机を出したり片付けたりできるよう、安全な机の出し方・片付け方を説明した。
2年生机出し説明会	1		47												47	2年生が、1人で机を出したり片づけたりできるように、安全な机の出し方・片付け方を確認した。
けん玉あそび説明会	1															けん玉の取組開始日に、けん玉の正しい使い方や遊び方、けん玉検定の説明を新入会児童に行った。
けん玉の取組	夏休み中の (土)を除く毎日															夏休みの午前中に実施。 級位毎、またはクラス毎に取組み部屋を指定した。
コマあそび説明会	2		4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	こまの取組開始の冬休み初日に、こまの正しい使い方や遊び方の説明を行い、取り組んでいた。 西京ブロック開催の「ギネス記録ランキング」に記録を提出するため、ギネス記録週間に記録を取った。	
けん玉検定日(冬休み)	4	55	39	46	37	10	8							195	児童からの要望があり、冬休み中に「けん玉検定」を実施した	
中堅派遣研修 ハロウィン工作	2	21	7	8	1		1							38		
カブトムシお世話係	随時															11月から募集、係活動開始
1年生机出し説明会	1	58												58	1年生対象に、机の出し方を学ぶ機会を実施した。(実施月:3月)	
将棋遊び説明会	1															希望する児童対象で、はさみ将棋の説明を行った。将棋あそびを始める前に、将棋の遊び方、館内将棋大会と西京ブロック交流将棋大会の種目(本将棋・王さまつめ・はさみ将棋)とルールの説明をし、児童が取組めるように取組カードを作成した。

